

松戸歯学部 オープンキャンパス

予約
不要

■ 開催日時
10:00~14:30(予定)
6/7(日) 7/19(日)
8/16(日) 10/18(日)

■ 主なプログラム
○ 学部概要説明 ○ 個別進学相談 ○ 模擬講義
○ 施設見学 ○ う蝕治療体験 ○ 在校生相談
○ 資料の配布・展示

開催日は変更となる場合があります。
必ず事前にホームページを御覧ください。

松戸歯学部 キャンパスツアー

予約
必須

■ 開催日時
10:30~12:00(予定)
4/11(土) 5/9(土) 9/19(土)
11/7(土) 12/5(土)
2021年
1/23(土) 2/20(土)

■ 主なプログラム
○ 学部概要説明 ○ 施設見学 ○ 質疑応答

※松戸歯学部のオープンキャンパス及びオープンツアーの
お申し込みなどに関する詳しい情報はホームページを御覧ください。

附属歯科衛生専門学校 体験入学・進学説明会

予約
必須

■ 開催日時
9:40~12:40(予定)
10/18(日)は10:00~13:00
6/7(日)^{*1}, 27(土)^{*1} 7/5(日)^{*1}
8/23(日)^{*1・2} 10/18(日)^{*1・2}

■ 主なプログラム
○ 模擬実習 ○ 施設見学 ○ 進学説明会

* 1. エントリーシート配布。* 2. 進学説明会を行います。自己推薦書配布。

※松戸歯学部附属歯科衛生専門学校の体験入学・進学説明会の
お申し込みなどに関する詳しい情報はホームページを御覧ください。

アクセス & 周辺マップ



- 松戸駅(JR常磐線快速・東京メトロ千代田線直通各駅停車・新京成電鉄):
西口2番バス乗り場(京成バス)「日大歯科病院」行きバス終点下車
(バス約15分)
- 北松戸駅(JR常磐線各駅停車)から徒歩約20分
- 南流山駅(JR武蔵野線・つくばエクスプレス):
南口バス乗り場(京成バス)「松戸駅」行きバス「日大歯科病院」下車
(バス約20分)もしくは「日大病院入口」下車(バス約15分、徒歩約5分)

日本大学松戸歯学部

大学院松戸歯学研究科/附属歯科衛生専門学校

日本大学松戸歯学部
<https://www.mascad.nihon-u.ac.jp>



〒271-8587 千葉県松戸市栄町西2-870-1
TEL 047-368-6111(代表) FAX 047-364-6295

日本大学松戸歯学部附属歯科衛生専門学校
<https://www.mascad.nihon-u.ac.jp/college>



日本大学松戸歯学部

大学院松戸歯学研究科/附属歯科衛生専門学校

人の一生を支える 学問

歯の治療だけが、
歯科医師の役割ではありません。
口から人の一生を支えること。
これが、わたしたちの志です。

食事をし、言葉をかわし、表情がうまれる。
人と人との関わり生きていくうえで、
口が担う役割の大きさを常にかけてきました。
「口腔の健康が全身の健康につながる」
この考えは、歯科医学を口腔科学として捉える
開学当初からの先駆的概念でもあります。
ときを重ねても多くの人が笑顔でいられるよう、
知識を深め、技術を磨き、真摯に向き合っていく。
松戸歯学部で見つけてほしいのは、
人の幸せを支える歯科医師の姿勢です。

50th

50年の絆、
今あらたに
噛みしめて。

2021年、日本大学松戸歯学部は創設50周年を迎えます。



Oral Science

松戸歯学部 of 教育ビジョン

歯科医師は虫歯を治療するだけでなく、
口腔の健康を通じて全身の健康を支えるために、ますます重要となってきます。
松戸歯学部は歯科医学を「オーラルサイエンス（口腔科学）」と捉え、
医学の一分科としての教育を行っています。

がん予防

唾液には発がん性を減少させる物質も含まれています。
清潔で健やかな口腔環境を保つことは、がんの予防にも大切です。

感染予防

口はからだの入口です。
口腔の清潔が肺炎などの感染予防にとても役立ちます。

脳の活性化

噛むことは
脳の活動を活発にします。
自分の歯で噛めることが
認知症の予防にも
つながります。

口臭予防

さわやかな息は、
やさしいエチケット。
歯周病や内臓疾患などでは
病的口臭が現れます。

消化促進

よく噛んで食べると、
食べ物と唾液がよく混ざり
消化吸収を助けます。
そして、胃腸の負担も
軽くなります。

体力向上

しっかりと噛むことは
歯やあごの発育だけでなく、
丈夫なからだづくりの
基本です。

オーラルサイエンス （口腔科学）



学部長メッセージ

人間性豊かな、広く社会に貢献できる
歯科医師を育成します。

松戸歯学部は2021年に創設50周年を迎えます。1971年の開学以来、国民の
歯科医療と歯科医学に貢献できる歯科医師を数多く輩出してきました。

松戸歯学部は、歯科医学を「オーラルサイエンス（口腔科学）」と捉え、医学の
一分科としての教育を展開してきました。口腔の健康は全身の健康に
つながるという考えは、医科歯科連携、地域包括医療・ケアとよばれる
システムの先駆的概念です。松戸歯学部附属病院の施設および来院
患者数は、国内有数規模であり、千葉県の歯科医療の一翼を担っています。
「一口腔一単位」を基本コンセプトとし、医師と連携できる知識と能力を
有する歯科医師を育成するとともに、口腔の健康を通じて全身の健康を
支える“口腔の専門医”として、患者心理を理解し、適切な説明と治療が
できる歯科医師を育成することを目指しています。
日本は現在、超高齢社会を迎えています。高齢者の健康寿命延伸のため
には、「口腔の健康維持」が極めて重要であり、それを支えるのが歯科
医師です。歯科医師は、人間にとって生きるための「食」を支える重要
器官に関わるスペシャリストにほかなりません。

日本大学松戸歯学部では、日本大学教育憲章に有る「自主創造」の「自ら
学び、自ら考え、自ら道をひらく」を根幹とした教育を行っています。歯科
医療と歯科医学を通して社会に貢献する、目的意識が高く、人間性豊かな
歯科医師の育成をめざしています。



おがた よりまさ
小方 頼昌

日本大学松戸歯学部 学部長
日本大学教授（歯周治療学）

沿革

1971	● 日本大学総長鈴木勝の構想により、 日本大学松戸歯科大学開学 ● 初代学長 鈴木勝就任 ● 付属歯科病院開設	1989	● 日本大学創立100周年記念 松戸歯学部国際シンポジウム開催
1973	● 体育館竣工	1991	● 創設20周年記念式典・祝賀会
1974	● 附属歯科衛生専門学校開校 ● 口腔科学研究所設置	1995	● MASCAT（学内LAN）センター設置
1975	● 学術雑誌「日大口腔科学」創刊	1998	● マルチメディア歯科教育システム導入 ● 松戸歯学部後援会発足
1976	● 日本大学松戸歯学部と改称 ● 動物実験研究センター・アイソトープ研究センター竣工	2001	● 創設30周年記念式典・祝賀会
1977	● 大学院松戸歯学研究科設置	2006	● 新病院棟竣工、日本大学松戸歯学部附属病院と改称
1982	● 組換えDNA実験施設設置（第4共同研究室内）	2011	● 創設40周年記念式典・特別講演会

日本大学教育憲章

日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。

日本大学の理念(目的及び使命)

日本大学は、日本精神にもとづき、道統をたつとび、憲章にしたがい、自主創造の気風をやしなひ、文化の進展をはかり、世界の平和と人類の福祉とに寄与することを目的とする。

日本大学は、広く知識を世界にもとめて、深遠な学術を研究し、心身ともに健全な文化人を育成することを使命とする。

日本大学マインド

日本の特質を理解し伝える力

多様な価値を受容し、自己の立場・役割を認識する力

社会に貢献する姿勢

「自主創造」の3つの構成要素及びその能力

自ら学ぶ

- 豊かな知識・教養に基づく高い倫理観
- 世界の現状を理解し、説明する力

自ら考える

- 論理的・批判的思考力
- 問題発見・解決力

自ら道をひらく

- 挑戦力
- コミュニケーション力
- リーダーシップ・協働力
- 省察力

松戸歯学部教育方針

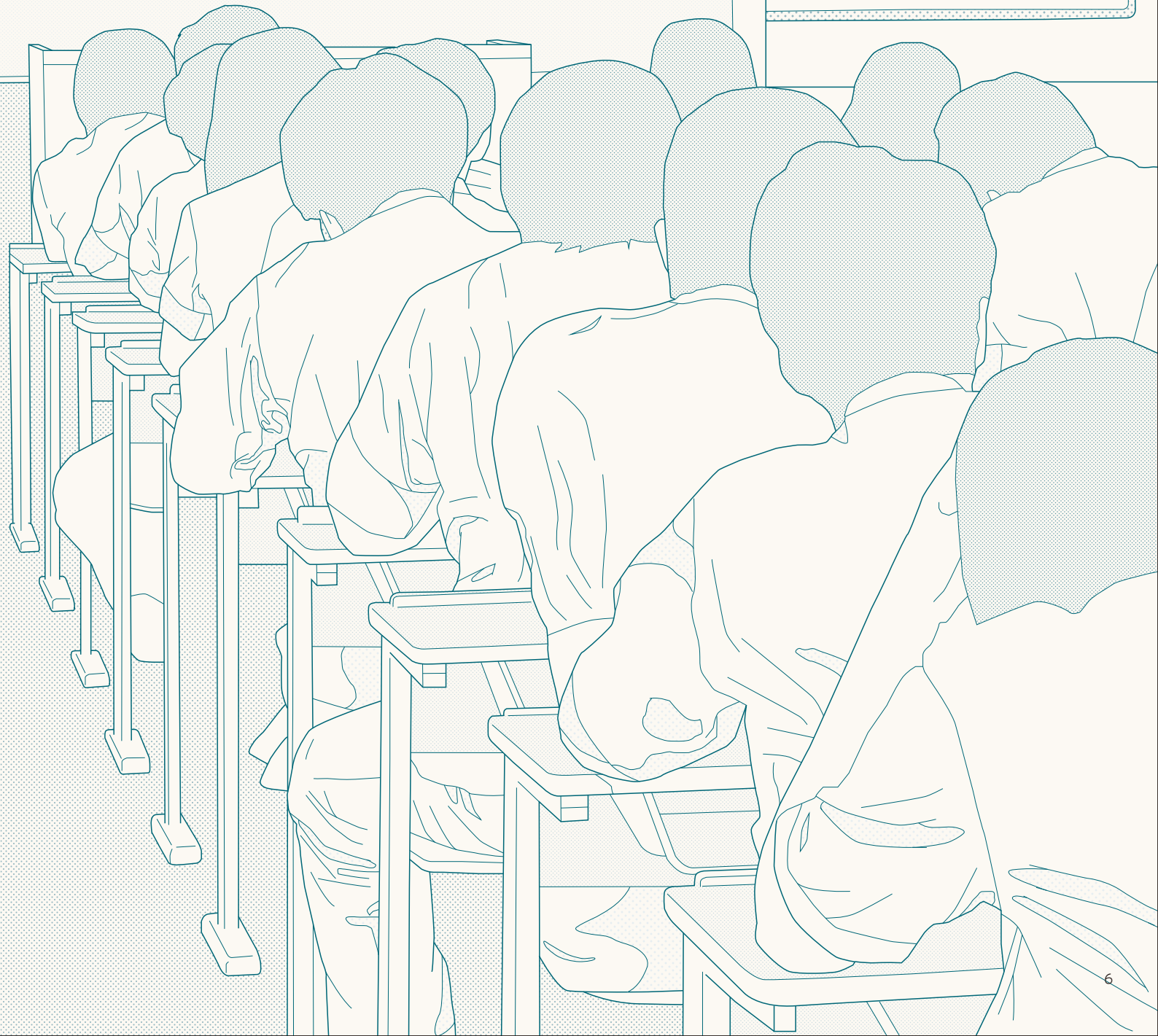
教育研究上の目的

理 念	口腔の健康は全身の健康を支えるという考えを基盤とし、それを具現化した「オーラルサイエンス(口腔科学)」の学びを礎に、自主創造の能力を養ひ、豊かな知識と教養に基づく高い倫理観を持ち、論理的かつ批判的思考を用いた問題解決力と省察力を有し、歯科医療と歯科保健を通して生涯にわたり社会に貢献できる人材を育成する。
目 標	口腔と全身の健康維持、増進に寄与するために、社会の多様なニーズに対応できる高い職業倫理を備え、あらゆる職種と協働し、地域医療と地域保健に貢献できる歯科医師を育成する。
研究指導の方針	教員の指導の下に、歯科医学の発展のために積極的に研究活動に参加し、その成果を国内外の学会へ公表することを通じて、研究力を高め、さらに国際人としてのグローバルセンスを養う。

3つのポリシー

ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)	松戸歯学部は、日本大学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、松戸歯学部教育理念に基づいた各分野の授業科目をすべて修得し、8つの能力を修得するために設定された卒業要件を満たした者に学士(歯学)の学位を授与する。
カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)	松戸歯学部(学士〈歯学〉)では、日本大学教育憲章(以下、「憲章」という)を基に、学位授与の方針に沿って、教育課程の編成を実施する。 憲章に基づく学位授与の方針における8つの能力(コンピテンシー)を養成するための初年次教育、教養教育、専門教育等について、一般教養、医療行動科学、基礎歯科医学、社会歯科医学、臨床歯科医学、総合医学の各領域で構成される科目を横断的かつ体系的に位置付けて、総合歯科医学領域と臨床実習領域でそれらを統合する教育課程を編成する。また、講義、演習、実験、実習の授業形態を適切に組み合わせた科目を開設し実施する。 学修成果の評価については、各授業科目の専門的な知識・技能及び態度の能力の修得を適切に評価する多元的な評価方法により各授業科目のシラバスに明示される学修到達目標の達成度について判定し、憲章に沿った能力の修得については、卒業の達成を測るための授業科目等により総合的に行う。
アドミッション・ポリシー (入学者受け入れの方針)	本学部の教育理念・目標に合致した人を選抜するために、基礎的学力、論理的思考力やコミュニケーション能力などに関する試験を実施し、医療人としての資質を総合的に評価し、知識・能力・意欲及び態度を有する者を受け入れる。

教 育



3 松戸歯学部 の 特 長

point

1 付属病院と連携した 実践的な臨床実習

指導医、患者さん、医療スタッフと関わりながら診療に参加します。付属病院での実習を通じて、知識・技術だけでなく、柔軟なコミュニケーションスキルを身に付けることができます。実習の舞台となる付属病院は、歯科大学付属病院として電子カルテを国内初導入し、様々な最新検査機器を備え、複雑化・多様化する医療ニーズに対応したスキルを身に付け即戦力となる歯科医師を育成します。

全国でも来院患者数トップクラスの 付属病院

来院患者数年間25万人以上、1日約900人、年間入院患者数約5,000人と、全国の歯学部付属病院でもトップクラスの来院患者数を有しています。5年次からの臨床実習では、この多くの患者さんのご協力により豊富な臨床経験を積むことができます。歯科医師臨床研修では、歯科医師免許取得後の1年間で大学付属病院などで研修歯科医として過ごしますが、当病院では約100人の歯科医師臨床研修医の受け入れ体制を整えています。

患者さんを中心とした 医療環境

地上4階、地下1階の付属病院棟には、歯科治療用ユニット183台、ベッド数31床を備えています。パティオを中心に20診療科(歯科16科、内科4科)と8つの専門外来を機能的に配置し、患者さんを中心とした構造になっています。また、最新の歯科用CBCT、MRI、血管造影装置など、あらゆる角度からの確な診断を可能とする設備を有し、歯学部付属病院として国内初の電子カルテシステムを導入するなど充実した医療環境を整えています。



地域歯科医療の 中核を担う付属病院

日本大学松戸歯学部付属病院は、臨床実習の場であると同時に地域歯科医療の中核を担い、口腔の健康は全身の健康を支える「オーラルサイエンス(口腔科学)」の理念のもと、新たな歯科医療の分野に挑戦を続けています。そして複雑・多様化する医療ニーズに対応するために、最新の設備で大学付属病院として高度な医療に貢献する一方、地域に根ざした取り組みを積極的に行っています。

付属病院の診療科紹介

■診療部門

【歯科】

総合診療科/放射線科/臨床検査科/病理診断科/保存科/補綴科/歯周科/小児歯科/矯正歯科/特殊歯科/口腔インプラント科/口腔外科/麻酔・全身管理科/スポーツ健康歯科/顎顔面機能再建科/顎関節・咬合科/特別診療室

【内科】

内科/脳神経外科/頭頸部外科/耳鼻咽喉科

【顎顔機能センター】

口・顔・頭の痛み外来/摂食・嚥下リハビリテーション外来/オーラル・リフレッシュ外来/脳ドック外来/いびき外来/歯科人間ドック外来/神経歯科外来/マイクロスコープ特診外来

■医療情報部門

情報管理科/医療情報システム管理科/医療連携科

point

2 4年間の「医療行動科学」で プロ意識を修得

教育理念である「対人関係能力や医療人としての人格を備えた全人的な歯科医師を育成」の観点から、1～4年次にわたり「医療行動科学1～4」を設置しています。患者さんの声に耳を傾け、その思いをくみ取って適切な説明・治療ができるよう、講義や実習を通して患者心理の理解を深め、プロフェッショナリズムを修得します。



point

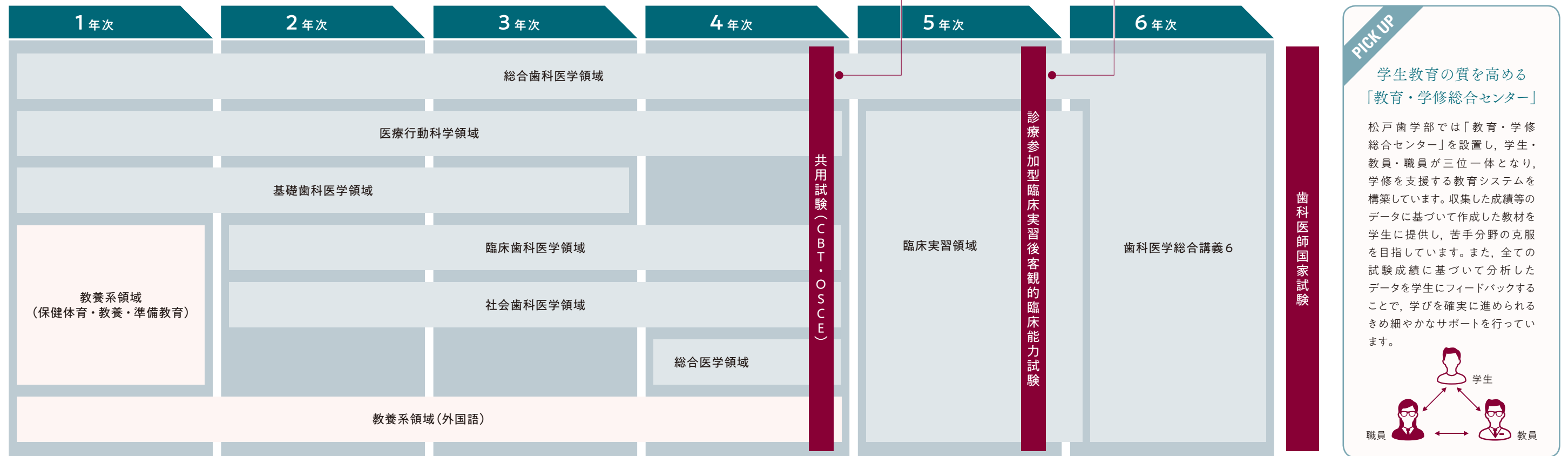
3 教職員が一丸となった きめ細やかな学修支援

各学年に配置された学修サポート委員と学年担任が、学生や保証人との面談を定期的に行い、成績の状況に応じて学修方法や弱点補強のための工夫など適切なアドバイスを学生一人ひとりに行います。特に上級学年になると、5年生では臨床実習への対応、6年生では歯科医師国家試験のために、それぞれ10～12名程度の班に2～3名の教員を配置し、臨床実習へのアドバイスや歯科医師国家試験に向けての知識統合の助言など、きめ細やかな学修支援を行います。



全人的な歯科医師を育成する教育システム

基礎歯科医学と基礎医学の「学問体系別講義」と、1つのテーマに様々な専門分野の教員がアプローチする「統合型講義」を連携させた総合的な教育体制を敷いています。また、各学年で段階的に知識や技術を修得できる「歯科医学総合講義」を設置し、一人ひとりの学修到達度を確認しながら効率的に学修を進めることができる独自の「歯科医学教育システム」を確立しています。



領域概要

教養系領域（保健体育・教養・外国語・準備教育）

歯科医師には専門知識・技術だけでなく、幅広い教養も必要という観点から、充実した教養科目群を設けました。日本大学全学共通教育科目「自主創造の基礎1」、「自主創造の基礎2」、「日本を考える」では、大学での学びやこれからの生き方において必要な日本大学教育憲章に示す基礎的素養を学生個々が身に付けることを主眼としています。また、実社会との関連から教養を学ぶ意義への理解や自身の専門分野を学ぶ意識を高め、以後受講する科目等の成果の充実に寄与するものとなります。準備教育科目の「物理学」、「生命科学」、「数学」においては、基礎歯科医学との関連性を重視した学修指導を行っています。保健体育科目では、歯科医師として心と身体の健康を管理できる能力を育成し、身体機能の維持・増進に加え、社会性の体得と自律した確かな人間性を高めていきます。

総合歯科医学領域

複数の異なる専門分野の教員が1つのテーマにアプローチする統合型講義を展開し、各学年で修得すべき知識・技術を確認しながら、全人的歯科医師を育成することを目的としています。



基礎歯科医学領域

歯科医師になるためには、人体の構造とその詳細、人体の各部分の機能を十分に理解する必要があります。さらに、病気の原因や治療に用いる薬の作用なども十分に理解しておく必要があります。このような医学にとって基本的な知識は基礎医学とよばれており、専門的には解剖学、組織・発生学、生理学、生化学、薬理学、微生物・免疫学、病理学などの分野に分かれています。そこでこれらの学科目を系統的に学修し、生体の構造や機能について幅広い医学知識や実際の歯科治療の知識・技術修得へ向けての基礎知識を身に付けます。

医療行動科学領域

歯科医師としてのプロフェッショナリズムを修得するための知識・技能を1年次から4年次まで一貫して学修します。授業は統合型講義で行われ、知識の修得だけではなく、学内外での体験学修を含め、社会から求められる医療人としての資質・人格を段階的に形成していきます。

臨床歯科医学領域・社会歯科医学領域

人体についての医学的知識をもとに、歯科治療はどうあるべきかという理論と具体的な治療法について学びを深めます。歯の硬組織や周辺組織に関する疾患や、その欠損と障害、口腔顎顔面領域の軟組織や硬組織に発生する疾患や障害、発育、成長過程に発生する疾患や障害、また高齢者に特有の疾患や障害とその治療法を学び、多様な歯科医療対応を修得します。また、歯科医療の社会における役割と公衆衛生への関与を学び、科学論文の理解に必要な医療統計学の基礎を学修します。さらに講義と実習を組み合わせることで、臨床実習にあたっての、医学・歯科医学の知識と歯科医療の実践との双方を併せ持つ能力を身に付けます。

総合医学領域

臨床実習前に、内科学・外科学などを主体にした医学分野を横断的かつ複合的に学び、「オーラルサイエンス（口腔科学）」を実践するための知識・技術を統合型講義にて身に付けます。

臨床実習領域

担当医の指導を受けながら、1年間をかけて医療現場の実務を修得します。患者さんと接することで、技術だけでなくとどまらず、歯科医師としての態度、職業意識を身に付けます。



幅広い教養の知識と
基礎的な歯科医学を総合的・複合的に学ぶ



学生からのメッセージ

内藤 瑠菜さん



松戸歯学部について

「オーラルサイエンス(口腔科学)」を掲げている松戸歯学部での学びは、歯のことに限りません。2年次には医学部のような、全身に関する授業もあります。3年次には1・2年で学んだ身体全体の医学的知識をベースに、口腔疾患についての専門的な知識を学ぶことができ、とても興味深く充実した学修をしています。3年次には実習が増えて臨床の雰囲気を直に感じることができるため、より歯科医師になる自覚が芽生えました。歯科保存学では患者さんを模したマネキンを使い、実際の口腔内とほぼ同じ環境で治療のトレーニングを行います。知識を詰め込みながら技術を身に付けることはとても難しくもありますが、すぐに相談できる先生方が大勢いることで助けていただきました。先生方が親身になってくれることも松戸歯学部の魅力です。

3年次前期の時間割

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	医療行動科学5	歯科材料学2	放射線学2	放射線学2	歯科補綴学1
2	薬理学2	歯科補綴学1	病理学2	放射線学2	衛生・公衆衛生学
3	薬理学2	歯科補綴学1	病理学2	歯科保存学1	歯科保存学1
4	薬理学2	歯科補綴学1	病理学2	歯科保存学1	歯科保存学1

学びの特色

自主創造の基礎1・2

日本大学では、学生一人ひとりが「自主性」と「創造性」に根ざした「将来目標を設定する意識付け」「学ぶ目的の意識付け」ができるような「自主創造型パーソン」の育成を目指し、全学共通初年次教育科目として設置されています。そのために1年次では「自主性」を涵養し、「創造性」への導入を目指した「自主創造の基礎(初年次教育科目)」を展開しています。松戸歯学部で求められる学修技法や将来の良き社会人に繋がる学修のあり方について学びます。

栄養学

健康と栄養の密接な関係について、歯科領域から、食育(さまざまな経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を修得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること)に対するアプローチを探索し、学びを深めます。



医療行動科学

[1・2年次]

授業は統合型講義で行われ、知識の修得だけではなく、学内外での体験学修を含め、社会から求められる医療人としての資質・人格を段階的に形成していきます。

[3年次：患者－医療関係学／医療人間学]

患者さんと医療者のあるべき関係について深く考え、付属病院における「患者付添実習」を通して自らが取るべき行動指針について学修します。

[4年次：医療面接・歯科臨床診断学／医療コミュニケーション学]

医療面接を通して、医療情報を収集し、最適な医療を行うために必要な診断までのプロセスや患者さんと良好な信頼関係を築くための医療コミュニケーションについて学修します。

障害者歯科学

「障害者歯科学」の専門講座を開設している本学部では、障がいを持った患者さんの歯科医療にも力を入れています。摂食嚥下(えんげ)機能障害を有する患者さんの全身疾患への理解を深めるとともに、社会歯科学的背景を理解し課題解決のための知識・技術を修得します。



教員からの
メッセージ

有川 量崇 教授

[衛生学]

地域社会で貢献できる
歯科医師になろう

歯科医師の業務は、診療所や病院で患者を待って治療をするだけではありません。3歳児歯科健診、学校歯科健康診断や自治体で実施する歯周疾患検診など、地域社会で活躍する場が多くあります。また高齢化の進展に伴い、口腔ケア、フレイル予防、栄養サポートなど歯科医師の役割も大きく変化し、口腔の健康が全身に影響を与えることも解明されています。それを学ぶ科目が、2年次の

衛生学・公衆衛生学と3年次の予防歯科学・実習です。実習には、オーラルフレイル予防のための口腔機能評価も新たに加えました。学生が日頃から社会に目を向け、社会のストーリー性を感じながら学問に取り組めるような講義・実習を提供しています。公衆衛生学を十分に理解し、将来地域において医療保健活動が実践できる歯科医師を輩出することを目標にしています。



全国トップクラスの来院患者数を誇る
付属病院での臨床実習



学生からのメッセージ

切替 俊彬さん



松戸歯学部での学びについて

5年次からは病院実習が始まり、より実践的な学びが増えます。診療の介助に付いて実際の治療を見学することで、4年次までの座学で学んだ内容の理解が一層深まりました。治療だけではなく、患者さんと先生方とのやり取りに関しても勉強になります。SD診療室では治療計画の立案から実際の治療も自分で行い、麻酔や抜歯、入れ歯の調整などの技術の他にも、患者さんに対するコミュニケーションスキルが鍛えられました。患者さんに労わりの心を持てる歯科医師になるべく、歯科医師としての礎を身に付けていきたいです。そして、松戸歯学部は広大なキャンパスで落ち着いた雰囲気豊かな学生生活を過ごせます。部活動も盛んで、僕もバレーボール部に所属しました。部活動で築いた仲間の存在も、自分の人生の財産となっています。

5年次前期の時間割

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
8:40 ↓ 9:40	歯科医療の展開				
10:00 ↓ 12:00	臨床実習				
13:30 ↓ 16:00	臨床実習				
16:30 ↓ 17:00	病院内清掃				

学びの特色

診療参加型臨床実習(SD診療)

付属病院を受診する患者さんの治療に参加し、歯科医療の実践力を培います。指導医によるマンツーマン形式で行われますが、患者さんの初診時医療面接と応急処置に始まり、診査・検査・情報収集と分析、総合的治療計画の立案、患者さんへの説明まで学生が行います。さらに、指導医の指示を仰ぎながら実際に患者さんの治療を担当し、実体験を通して患者さんとの良好な関係構築のためのコミュニケーション能力と診察技能を高めます。



歯科医学総合講義6

診断・治療・予防までの一貫した診療を実践できる歯科医師になれるよう講義を行い、歯科医師国家試験の合格に向けて6年次までに履修した知識・技術を集約します。

課題別臨床実習

6年次に実施され、各診療科で参加型臨床実習を行いながら、新5年生に基本的臨床能力を指導することで自身の知識・技能・態度を見直し、より専門的な知識・技能・態度を統合的に修得します。



PICK UP

学修スペースについて

松戸歯学部では学修支援の一環として学修スペースの充実を図っています。図書館の他に、学生セミナー室も完備。さらに、学生同士が知識を深めながらグループ学修ができるよう午後5時以降は学生食堂を学修スペースとして開放しています。学内では多くの学生がこれらの学修スペースを利用し、毎日の講義・実習の復習や試験に向けて勉学に励んでいます。



教員からの
メッセージ

鈴木 浩司 准教授

〔顎口腔機能治療学〕

歯や口の健康がスポーツだけでなく全身の健康に非常に大切であり、スポーツ選手やスポーツ愛好家には歯と噛み合わせが大切であること、そして安全にスポーツを楽しむために歯や顎をどう守るか、これをスポーツ健康歯科で対応します。また、健康の維持・増進に欠かすことのできない「睡眠」。しかし最近では睡眠に問題を抱える人達が増えています。なかでも睡眠時無呼吸症に代表される睡眠呼吸障害は最も身近に

健康増進に貢献するこれからの歯科医療。
スポーツ歯学と睡眠歯科学

存在していますが、この治療に対する歯科の有効性が認められています。これはいびき外来が担当します。5・6年次の臨床実習では授業で学んだことを生かし、実際の患者治療に携わることで、その目的や意義を再確認します。どちらも多くの患者さんが来院されるため、多くの症例に接することができます。このように健康増進に貢献するこれからの歯科医療を学び、新しい年に相応しい歯科医師育成に努めます。





診療参加型臨床実習を实践する SD(Student Dentist)診療室

松戸歯学部では、5年次の臨床実習においてSD診療室を開設しています。附属病院で実践的に診療マネジメントを行い、SDとしての自覚を持って、治療技術やコミュニケーション能力と知識の向上を図っています。

SD診療とは？

学生が、指導医とともに患者さんのマネジメントを行う“診療参加型”の臨床実習です。



SD診療室 3つの特長

point

1

地域歯科医療の中核を担う
附属病院で優れた臨床能力と
人格を身に付ける

松戸歯学部の学生が臨床実習を行う場は、最新の歯科用CBCT、MRI、血管造影装置など診療機器や国内初の電子カルテを導入した日本大学松戸歯学部附属病院です。同病院は地域における歯科医療の中核的な役割を担っている上、厚生労働省から歯周病関連の高度先進医療機関として認定を受けています。全国歯学部附属病院の中でもトップクラスの来院者数の附属病院での実習を通して専門知識や技術のみならず、患者さんに対する思いやりや奉仕的精神をしっかりと身に付け、即戦力となる優れた臨床能力と人格を備えた歯科医師の育成を目指します。



point

2

脳と口腔の機能に着目した
医療の実践

「顎脳機能センター」は脳血管疾患などによる要介護状態の患者さんなどに対して、口腔と脳の2つの領域からのアプローチを可能にすることを目的に開設されました。ことに、「口・顔・頭の痛み外来」は首から上の全ての痛みに対応しており、同一の施設内で医師と歯科医師による協働した診療を可能としています。5年次からは医師や歯科医師、患者さんから数多くのことを学ぶとともに、常に新しい医療技術を学ぶ貴重な環境を整備しています。



point

3

一口腔単位の
診療マネジメントの実践

SD診療では、学生が患者さんのチーム医療の一員となり、診療の開始から終了までの中心的な役割を果たします。指導医の下、初診の患者さんの医療面接の実施、口腔機能の回復をトータルで考える一口腔単位の治療計画立案、必要な検査の実施、治療の実施と介助、予約マネジメント、症例報告を行います。患者さんと信頼関係を築きながら、総合的な歯科臨床能力を身に付けます。



海外留学制度

ケンブリッジ大学ペンブルック・カレッジ(サマースクール)

日本大学はケンブリッジ大学ペンブルック・カレッジで25年以上の長期にわたりサマースクールを実施しています。日本大学と共同出資で建設した学寮があり、研修期間中は、寮に滞在しながら、カレッジ生活を体験します。夏季休業期間を利用した3週間(1日約5時間の授業)の集中プログラムです。また、ケンブリッジ大学の学生が専属プログラムアシスタントとしてサポートします。

エリザベスタウン・カレッジ

英語運用能力のレベルアップを目指す授業が展開され、期間中はエリザベスタウン・カレッジ内の寮に滞在します。米国の生活・文化を体験するため、ニューヨーク、ワシントンD.C.といった大都市へのフィールドトリップも企画される予定です。

日本大学大学院海外派遣奨学生

大学院学生を海外に派遣することにより、研究者の育成及び国際交流の進展を図り、本学の発展に資することを目的としています。

歯科医師国家試験サポート

学修支援補習講義

5年次後期より、夕方に補講を実施しています。これまで学んだ授業の復習と小テストを通して弱点を認識することで、効率よく国家試験の受験勉強に取り組めます。

歯科医学総合講義6

6年次に行われる「歯科医学総合講義6」は6年間の歯学部教育を総括するまとめ講義です。総合試験は歯科医師国家試験を徹底的に分析し、問題数や合格基準を国家試験水準としています。

学修サポート委員会

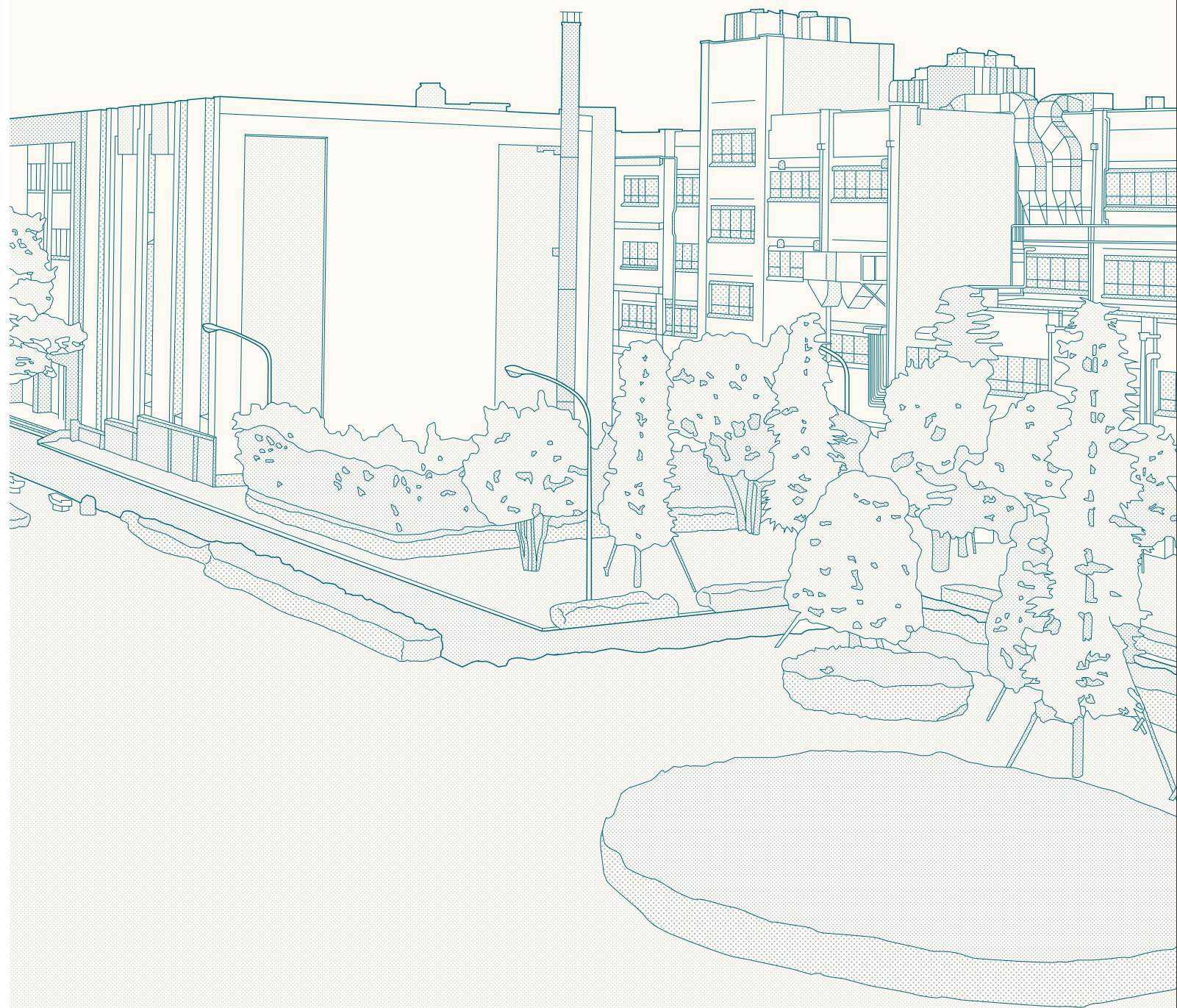
各講座に1人以上の学修サポート委員会の教員がおり、適切な勉強方法の相談など、いつでも質問ができる体制を整えています。1～6年次教育主任・学修サポート委員を中心に、面談方針を定め2者面談・3者面談を実施し学修支援をしています。

歯科医師国家試験合格率(新卒者)

第108回 (2014年度)	第109回 (2015年度)	第110回 (2016年度)	第111回 (2017年度)	第112回 (2018年度)	第113回 (2019年度)
73.0%	58.9%	79.3%	59.8%	77.5%	80.5%



キャンパスライフ



Campus Map

キャンパスマップ

1 グラウンド



26,000㎡の広さを持ち、夜間照明を完備しています。クラブ活動及び体育実技など幅広く利用され、また、松戸市の避難場所兼収容避難場所として指定されています。

2 付属病院棟



歯科以外にも内科・耳鼻咽喉科などの医科の診療科があります。5年次からの臨床実習は、この病院において実施します。

3 歯学史資料室



歯学史関係資料を中心に、古文書、古医書など、医歯業の歴史を語る上で重要な資料が展示されています。

4 図書館



歯学・医学の専門書等約130,400冊の資料を所蔵。その他契約中の電子ジャーナルも閲覧できます。

5 校舎棟



4つの大教室(階段教室)に加え実習室があり、教育活動の主な施設を収容する施設となっています。

6 学生食堂



学生や教職員、研修医など学内関係者が自由に利用でき、クラブのミーティングや学修する場としても利用されています。

7 体育館



バスケットボールコート2面を確保でき、冷暖房設備があります。その他に各種道場、トレーニングルーム及びシャワー室を備えています。

8 ゴルフ練習場



ゴルフ部員だけでなく、学内関係者であれば利用できるゴルフ練習場です。一度に8人まで利用可能です。

9 保健室・学生支援室



保健室には看護師が常駐し、学生の病気やけがなどの応急処置をしています。また学生支援室ではあらゆる相談事に応じます。

学生寮「バンデリアン松戸」

2014年3月に設置され、松戸歯学部への通学にも便利な場所に位置している男子学生寮です。詳細は、日本大学ホームページを御覧いただくか、下記にお問い合わせください。

お問い合わせ先：日本大学学生部
TEL 0120-130-515 (月～金10:00～16:00)

Event Schedule

年間スケジュール

4

Apr

- 日本大学入学式／学部開講式
- 登院式・戴衣式(5年次)
- ガイダンス
- 新入生オリエンテーション
- 附属歯科衛生専門学校入学式
- 大学院開講式
- 実験動物慰霊祭
- 学外研修(5年次)

5

May

- 定期健康診断
- 後援会総会
- 松戸歯学部創設記念日(5/20)
- 消防・防災訓練

6

Jun

- リーダースキャンブ
- オープンキャンパス(学部)
- 体験入学(附属歯科衛生専門学校)

7

Jul

- 特待生・各種奨学生証書等授与式
- オープンキャンパス(学部)
- 体験入学(附属歯科衛生専門学校)
- 夏季休業

8

Aug

- 全日本歯科学生総合体育大会(歯学体:夏期部門)
- 夏季休業
- オープンキャンパス(学部)
- 進学説明会・体験入学(附属歯科衛生専門学校)

9

Sep

- 口腔科学会学術大会・総会
- 後学期授業開始

10

Oct

- 日本大学創立記念日(10/4)
- 松戸祭
- 市民大学講座
- オープンキャンパス(学部)
- 進学説明会・体験入学(附属歯科衛生専門学校)
- 解剖体追悼法要

11

Nov

- 消防・防災訓練

12

Dec

- 全日本歯科学生総合体育大会(歯学体:冬期部門)
- 冬季休業

1

Jan

2

Feb

- 歯科医師国家試験
- 共用試験 CBT, OSCE(4年次)
- 診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験

3

Mar

- 歯科衛生士国家試験
- 日本大学卒業式／学位記伝達式
- 附属歯科衛生専門学校卒業式
- 進級発表
- 歯科医師国家試験合格発表
- 歯科衛生士国家試験合格発表



Club Activity

クラブ活動

本学部のモットーは文武両道。国家試験合格を目指すかたわら、多くの学生が同じ趣味や目的を持つ仲間と、クラブ活動にも精力的に汗を流しています。本学部には夜間照明付きグラウンド、体育館、テニスコートやゴルフ練習場等が完備されており、サポート体制は万全です。このクラブ活動で得た学年を超えた「仲間」との絆は、在学中はもちろんのこと、卒業してから生涯の友として貴重な財産となります。



体育 クラブ

合気道部
アメリカンフットボール部
空手道部
弓道部
剣道部
硬式野球部
硬式庭球部
ゴルフ部
サーフィン部

サッカー部
山岳部
少林寺拳法部
準硬式野球部
柔道部
スキー部
水泳部
ソフトテニス部
軟式野球部

日本拳法部
バドミントン部
バレーボール部
バスケットボール部
ボクシング部
洋弓部
ヨット部
ラグビーフットボール部
陸上競技部

全日本歯科学生 総合体育大会 総合優勝実績

1992 第24回総合優勝
1993 第25回総合優勝
2003 第35回総合優勝
2004 第36回総合優勝
2015 第47回総合優勝

文化 クラブ

英会話研究会 (ESS)
国際保健部
軽音楽部
コーラス部
写真部
ユースホステルクラブ

アナログレコード研究部
ダンス部
アニマル・サイエンス部
自動車部
モーターサイクル部
天文部

同好会

MDEC 同好会
社会交流同好会
釣り同好会
戦史研究会
フットサル同好会
e-Sports 同好会

入 試 情 報

■ 一般選抜 N 全学統一方式・A 個別方式

	N 全学統一方式【第1期】 (日本大学が実施する入試)	A 個別方式【第1期】 (松戸歯学部が実施する入試)	A 個別方式【第2期】 (松戸歯学部が実施する入試)
募集人員	4 名	52 名	10 名
出願期間	令和3年1月5日(火)～1月22日(金) インターネット出願, 郵送・窓口 ^{*1}	令和3年1月5日(火)～1月25日(月) インターネット出願, 郵送・窓口 ^{*1}	令和3年1月5日(火)～2月24日(水) インターネット出願, 郵送・窓口 ^{*1}
試験日	令和3年2月1日(月)	令和3年2月4日(木)	令和3年3月4日(木)
合格発表 ^{*2}	令和3年2月10日(水)		令和3年3月10日(水)
入学手続締切日	令和3年2月19日(金)		令和3年3月18日(木)
二段階最終入学手続日	令和3年3月11日(木)		—
出願資格・出願書類	「一般入学試験要項」に記載のとおり。		
入学検定料			
選考方法	① 学力検査 【外国語】「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」(60分/100点満点) 【数学・理科】「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(確率分布と統計的な推測を除く)」 「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」 「生物基礎・生物」のうちから1科目選択。 上記選択科目を指定科目数以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用する。ただし医学部を併願していて、「理科」を合否判定に使用する場合は、第1解答科目のみを合否判定に使用する。(60分/100点満点) ② 書類審査 「学習成績の状況」に基づく。 上記の結果を基に、総合的に選考する。 ※学力検査の成績の評価点が同点の場合、書類審査の評価点が高い者を優先とする。	① 学力検査 【外国語】「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ」(60分/100点満点) 【数学・理科】「数学Ⅰ・数学Ⅱ」「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」のうちから1科目選択。(60分/100点満点) ② 書類審査 「学習成績の状況」に基づく。 ③ 小論文 [500字～600字](60分/50点満点) ④ 面接 (50点満点) 上記の結果を基に、総合的に選考する。ただし、③・④には、各々最低基準を設け、基準に達しない場合は、総合得点が合格最低点を超えていても不合格とする。 ※総合得点が同点の場合、学力検査の評価点の高い者を優先とし、更に同点であった場合は面接の評価点、また、更に同点であった場合は書類審査の評価点が高い者を優先とする。 ※学力検査の解答方式は記述式。	

^{*1} 窓口受付は出願締切前日と当日の2日間のみ。受付窓口は「日本大学入試センター」。

^{*2} 午後1時にインターネットによる合否案内。

■ 一般選抜 C 共通テスト利用方式(大学入学共通テストを利用した試験) ※個別学力検査等は実施しません。

	【第1期】	【第2期】
募集人員	3 名	2 名
出願期間	令和3年1月5日(火)～1月16日(土) インターネット出願, 郵送・窓口 ^{*1}	令和3年1月5日(火)～2月19日(金) インターネット出願, 郵送・窓口 ^{*1}
試験日	大学入学共通テスト 令和3年1月16日(土)・17日(日)	
合格発表 ^{*2}	令和3年2月10日(水)	令和3年3月10日(水)
入学手続締切日	令和3年2月19日(金)	令和3年3月18日(木)
二段階最終入学手続日	令和3年3月11日(木)	—
出願資格・出願書類	「一般入学試験要項」に記載のとおり。	
入学検定料		
試験科目	【国語】「国語(近代以降の文章)」(100点満点) 【理科】「物理」「化学」「生物」のうちから1科目選択。 (100点満点) 【外国語】「英語」(100点満点) 【書類審査】「学習成績の状況」に基づく。 ※上記選択科目を指定科目数以上受験した場合は、第1解答科目を合否判定に使用。 ※【外国語】「英語」においては、リスニングの成績は利用しない。 ※【国語】においては、近代以降の文章のみ利用。 ※大学入学共通テストの配点を上記の配点に換算し、合否判定する。 ※大学入学共通テストの成績の評価点が同点の場合、書類審査の評価点が高い者を優先とする。	【数学】「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」のうちから1科目選択。 「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」のうちから1科目選択。 (各50点, 100点満点) 【理科】「物理」「化学」「生物」のうちから1科目選択。 (100点満点) 【外国語】「英語」(100点満点) 【書類審査】「学習成績の状況」に基づく。 ※上記選択科目を指定科目数以上受験した場合は、第1解答科目を合否判定に使用。 ※【外国語】「英語」においては、リスニングの成績は利用しない。 ※大学入学共通テストの配点を上記の配点に換算し、合否判定する。 ※大学入学共通テストの成績の評価点が同点の場合、書類審査の評価点が高い者を優先とする。

^{*1} 窓口受付は出願締切当日のみ。受付窓口は「日本大学入試センター」。

^{*2} 午後1時にインターネットによる合否案内。

■ 総合型選抜

	【第1期】	【第2期】
募集人員	15 名	3 名
エントリー期間	令和2年9月1日(火)～9月8日(火) 郵送・窓口 ^{*1}	令和2年12月1日(火)～12月8日(火) 郵送・窓口 ^{*1}
エントリー審査	書類審査のみ(「学習成績の状況」及びエントリーシートの内容に基づく)。	
エントリー審査結果通知 ^{*2}	令和2年9月16日(水)	令和2年12月15日(火)
エントリー出願書類	①エントリーシート(志望理由書・自己推薦書) ②出願資格を証明する書類(高等学校、中等教育学校の卒業〈見込〉者、高等専門学校第3年次、在外教育施設の当該課程の修了〈見込〉者)は出身学校の調査書)	
出願期間	令和2年9月17日(木)～9月30日(水) インターネット出願, 郵送・窓口 ^{*1}	令和2年12月16日(水)～12月23日(水) インターネット出願, 郵送・窓口 ^{*1}
試験日	令和2年10月24日(土)	令和3年1月23日(土)
合格発表 ^{*2}	令和2年11月2日(月)	令和3年1月29日(金)
入学手続締切日	令和2年11月9日(月)	令和3年2月5日(金)
出願書類	出願確認票	
入学検定料 ^{*3}	「入学試験要項」に記載のとおり。	
出願資格	次のいずれかに該当し、合格した場合本学部に入学することを確約できる者。 ● 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者。 ● 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(高等専門学校第3年次修了者等)及び令和3年3月修了見込みの者。 ● 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和3年3月31日までにこれに該当する見込みの者。 外国の学校、在外教育施設、専修学校の高等課程、高等学校卒業程度認定試験 等。	
選考方法	① 学力検査 (60分/100点満点) ② 小論文 [500字～600字](60分/50点満点) ③ 実技検査 (30分/50点満点) ④ 面接 (50点満点) 上記の結果を基に総合的に選考する。ただし、②～④には、各々最低基準を設け、基準に達しない場合は、総合得点が合格最低点を超えていても不合格とする。 ※総合得点が同点の場合、学力検査の評価点の高い者を優先とし、更に同点であった場合は面接の評価点、また、更に同点であった場合は小論文の評価点が高い者を優先とする。	

^{*1} 休日は郵送のみ。受付窓口は日本大学松戸歯学部教務課。

^{*2} 本人へ発送。

^{*3} エントリー出願時には入学検定料は不要。

■ 校友子女選抜

	【第1期】	【第2期】
募集人員	6 名	2 名
出願期間	令和2年9月17日(木)～9月30日(水) 郵送・窓口 ^{*1}	令和2年12月16日(水)～12月23日(水) 郵送・窓口 ^{*1}
試験日	令和2年10月24日(土)	令和3年1月23日(土)
合格発表 ^{*2}	令和2年11月2日(月)	令和3年1月29日(金)
入学手続締切日	令和2年11月9日(月)	令和3年2月5日(金)
出願書類	①日本大学校友会発行の「校友子女確認書」 ②入学志願票 ③校友子女入学試験 出願理由書・経歴書(本学部所定用紙) ④出身学校の調査書等	
入学検定料	「入学試験要項」に記載のとおり。	
出願資格	日本大学校友会が発行した「校友子女確認書」を有し、次のいずれかに該当し、合格した場合、本学部に入学することを確約できる者。 ● 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者。 ● 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年3月修了見込みの者。 ● 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和3年3月31日までにこれに該当する見込みの者。	
選考方法	① 書類審査 「学習成績の状況」に基づく。 ② 学力検査 (60分/100点満点) ③ 小論文 [500字～600字](60分/50点満点) ④ 面接 (50点満点) 上記の結果を基に、総合的に選考する。ただし、③・④には、各々最低基準を設け、基準に達しない場合は、総合得点が合格最低点を超えていても不合格となる。 ※総合得点が同点の場合、学力検査の評価点の高い者を優先とし、更に同点であった場合は面接の評価点、また、更に同点であった場合は書類審査の評価点が高い者を優先とする。	

^{*1} 休日は郵送のみ。受付窓口は日本大学松戸歯学部教務課。

^{*2} 本人へ発送。

■ 学校推薦型選抜

	指定校制	公募制
募集人員	3名	3名
出願期間	令和2年11月2日(月)～11月13日(金) インターネット出願、郵送・窓口 ^{*1}	
試験日	令和2年11月21日(土)	
合格発表 ^{*2}	令和2年12月1日(火)	
入学手続締切日	令和2年12月8日(火)	
出願書類	①出願確認票 ②出身学校の調査書 ③出身学校長の推薦書	
入学検定料	「入学試験要項」に記載のとおり。	
推薦基準及び出願資格	次の要件を全て満たす者で、学校長が責任をもって推薦する者。 ●本学部指定の高等学校又は中等教育学校を令和3年3月卒業見込みの者。 ●本学部で歯学の専攻を強く希望し、合格した場合、本学部に入学することを確約できる者。 ●調査書の全体の「学習成績の状況」が指定校別に定めた値以上の者。	次の要件を全て満たす者で、学校長が責任をもって推薦する者。 ●全日制高等学校又は中等教育学校(共に普通科・理数科、又は本学部がこれに準ずると認めた学科)を令和3年3月卒業見込みの者。 ●本学部で歯学の専攻を強く希望し、合格した場合、本学部に入学することを確約できる者。
選考方法	①書類審査「学習成績の状況」に基づく。 ②学力検査(60分/100点満点) ③小論文[500字～600字](60分/50点満点) ④面接(50点満点) 上記の結果を基に、総合的に選考する。ただし、③・④には、各々最低基準を設け、基準に達しない場合は、総合得点が合格最低点を超えていても不合格とする。 ※総合得点が同点の場合、学力検査の評価点の高い者を優先とし、更に同点であった場合は面接の評価点、また、更に同点であった場合は書類審査の評価点が高い者を優先とする。	

^{*1} 1. 休日は郵送のみ。受付窓口は日本大学松戸歯学部教務課。^{*2} 2. 学校長と本人へ発送。

■ 編入学試験

募集人員	若干名	出願期間	令和2年11月2日(月)～11月13日(金) 郵送・窓口 ^{*1}
試験日	令和2年11月21日(土)	合格発表 ^{*2}	令和2年12月1日(火)
入学手続締切日	令和2年12月8日(火)	入学検定料	「入学試験要項」に記載のとおり。
出願書類	①入学志願票 ②編入学試験出願理由書・経歴書(本学部所定用紙) ③大学の成績証明書(単位数記載のもの) ④大学の在学期間を証明する書類(在学証明書・卒業証明書・退学証明書等) ⑤出身高等学校等の調査書又は成績証明書		
推薦基準及び出願資格	次のいずれかの要件を満たす者。 ●大学に1年以上在学し、35単位以上を修得した者。ただし、単位修得見込みの者を除く。 ●大学を平成28年3月から令和2年3月までに卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者。		
選考方法	①書類審査「学習成績の状況」に基づく。 ②学力検査(60分/100点満点) ③小論文[500字～600字](60分/50点満点) ④面接(50点満点) 上記の結果を基に、総合的に選考する。ただし、③・④には、各々最低基準を設け、基準に達しない場合は、総合得点が合格最低点を超えていても不合格とする。 ※総合得点が同点の場合、学力検査の評価点の高い者を優先とし、更に同点であった場合は面接の評価点、また、更に同点であった場合は書類審査の評価点が高い者を優先とする。		

^{*1} 1. 休日は郵送のみ。受付窓口は日本大学松戸歯学部教務課。^{*2} 2. 学校長と本人へ発送。

■ 学校推薦型選抜(付属高等学校等)

	基礎学力選抜	付属特別選抜
募集人員	10名	2名
出願方法	在籍する高等学校等の指示に従うこと。	
出願受付日	令和2年11月2日(月) 〔高校→本部〕	
試験日	令和2年11月21日(土)	
合格発表 ^{*1}	令和2年12月1日(火)	
入学手続締切日	令和2年12月8日(火)	
出願書類(本部より)	①入学志願票 ②出身学校の調査書	①入学志願票 ②出身学校の調査書 ③出身学校長の推薦書 ④志願理由書
入学検定料	「入学試験要項」に記載のとおり。	
推薦基準及び出願資格	●日本大学付属高等学校等基礎学力到達度テスト(理系)の標準化点の順位が全体の8割以上である者。	次の要件を全て満たす者で、学校長が責任をもって推薦する者。 ●日本大学付属高等学校等(文系・理系)を令和3年3月卒業見込みの者。 ●本学部で歯学の専攻を強く希望し、合格した場合、本学部に入学することを確約できる者。
選考方法	●面接(50点満点) 面接の結果には、最低基準を設け、基準に達しない場合は、不合格とする。	①書類審査「学習成績の状況」に基づく。 ②学力検査(60分/100点満点) ③小論文[500字～600字](60分/50点満点) ④面接(50点満点) 上記の結果を基に、総合的に選考する。ただし、③・④には、各々最低基準を設け、基準に達しない場合は、総合得点が合格最低点を超えていても不合格とする。 ※総合得点が同点の場合、学力検査の評価点の高い者を優先とし、更に同点であった場合は面接の評価点、また、更に同点であった場合は書類審査の評価点が高い者を優先とする。

^{*1} 1. 学校長へ発送。

学費

■ 学費(令和2年度参考) ※諸会費除く

	【1年次】		【2年次】		【3～6年次】	
	前学期 (入学手続時納入金)	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
入学金	600,000円	—	—	—	—	—
授業料	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円
施設設備資金	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円
教育充実料	1,000,000円	1,000,000円	500,000円	500,000円	—	—
小計	3,750,000円	3,150,000円	2,650,000円	2,650,000円	2,150,000円	2,150,000円
学年合計	6,900,000円		5,300,000円		4,300,000円	
6年間合計	29,400,000円					

一般入学試験時の成績優秀者は教育充実料200万円(初年度)を減免します。

各種奨学金制度の紹介

■ 学内の奨学金制度

本学部には充実した奨学金制度があります。学業成績・人物が優秀な学生や、経済的理由により修学が困難な学生に対し、さまざまな奨学金を給付・貸与しています。

奨学金名	対象	条件	金額	募集時期 ^{*1}	種別
日本大学特待生	学部2年次生以上	学業成績・人物共に優秀な者（公募ではありません）。	甲種：授業料1年分相当額の半額及び図書費 乙種：授業料1年分相当額の半額	—	給付
松戸歯学部鈴木奨学金（第1種）	学部2～6年次生・大学院生	学業成績・人物ともに優れている者。	年額10万円	4～5月	
松戸歯学部鈴木奨学金（第2種）	学部・大学院生	経済的理由により学費の支弁が困難である学業成績・人物共に優秀な者。	年額24万円	5月	
松戸歯学部大竹奨学金		学業・人物ともに優れた者、もしくは、課外活動において顕著な成果を収め学部等の発展に貢献したと認められる者。	年額10万円		
日本大学古田奨学金	大学院生	学業成績・人物共に優秀な者。	年額20万円		
日本大学ロバート・F・ケネディ奨学金					
日本大学事業部奨学金	学部生	経済的理由により学費等の支弁が困難である学業成績・人物共に優秀な者。	年額24万円		
日本大学創立130周年記念奨学金（第2種）		経済的支援を必要とし、修学意志が堅固で学業成績及び人物が優良な者（外国人留学生を除く）。	年額30万円	6月	

■ 学外の奨学金制度

奨学金名	対象	条件	金額	募集時期*1	種別
日本学生支援機構奨学金 (第一種)*2 [無利子]	学部・大学院生	特に優れた学生で、経済的理由により著しく 修学困難な者。	学部生：2・3・4・5万4千円 の中から選択(自宅通学)。2・3・ 4・5・6万4千円の中から選択 (自宅外通学)。 大学院生：8万円もしくは 12万2千円。	4月	貸与
日本学生支援機構奨学金 (第二種)*2 [有利子]		第一種奨学金よりゆるやかな基準によって 選考された者。	学部生：2・3・4・5・6・7・8・ 9・10・11・12・16万円から 選択。/大学院生：5・8・10・ 13・15万円から選択。		
日本学生支援機構奨学金 (給付型)*2	学部生	収入が一定額以下であること(学業成績・ 学修意欲等に関する要件も満たす必要が ある)。 ※給付型奨学金の対象となれば授業料・ 入学金も免除又は減額。	世帯収入に応じた3段階の 基準で支援額が決定。		給付
民間企業提携教育ローン	学部・大学院生	詳細は学生課までお問い合わせください。		随時	給付・ 貸与
地方公共団体・ 各奨学財団奨学金		募集期間や内容はさまざまですので、詳細は学生課掲示板にて随時お知らせ します。			

^{*1} 1. 募集時期は目安です。正式な期限等については、学生課掲示板上にてお知らせいたします。 ^{*2} 2. 独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)のホームページを御参照ください。 <http://www.jasso.go.jp>

よくある質問

Q 入学試験の選択科目によって
有利不利はありますか？

A 問題作成の際に難易度などを調整し、不公平にならないよう配慮していますので、選択科目による有利不利はありません。自分の得意な科目でチャレンジすることが、より良い結果につながるでしょう。

入試情報について [p.25～27](#)

Q 入学手続きについて知りたいのですが。

A 合格後、入学手続き期間中に所定の納入金を納め、必要書類を提出いただくと入学が許可されます。なお、日本大学他学部または他大学を併願している場合は、一部の一般入学試験(正規格者)は入学手続の延期が可能です。延期を希望する場合は、入学手続き期間中に入学申込金を納入し、所定の手続きを行うことで、大学指定の期日まで延期することが可能です。この入学申込金は、本学部へ入学される際に入学金として充当いたします。

入試情報について [p.25～27](#)

Q 国家試験について教えてください。

A 歯学部の学生にとっての最終目標ともいえるのが毎年実施される歯科医師国家試験の合格です。大学での講義、実習をマスターしていれば、十分に合格レベルに達することができます。

国家試験合格率について [p.17](#)

Q クラブと勉強の両立は可能ですか？

A 本学部では、多くの学生がクラブに所属しています。練習の頻度等はクラブによって異なりますが、どのクラブも学業優先を念頭に活動しています。クラブ活動を通じて、学年を越えた繋がりを持つことができ、勉強面においても協力し合うことのできる貴重な仲間となるでしょう。

クラブ活動について [p.23～24](#)

Q 試験会場の下見はできますか。

A 試験場へは入れませんが、事前に駅からの道順、所要時間をチェックし下見をしておくことをお勧めします。なおオープンキャンパス、キャンパスツアーに参加いただければ、学内見学の際ご案内いたします。

オープンキャンパス、[パンフレット裏面](#)
キャンパスツアーについて

Q 卒業後の進路は？

A 松戸歯学部の卒業生は5,903人。日本だけでなく、海外でも歯科医療の最先端で活躍しています。卒業後は1年の歯科医師臨床研修医期間を経て、歯科医師として病院に就職するほか個人開業医になるなど、さらには、より高いレベルの知識、技術を身につけるために大学院に進学、もしくは研究生への進路も用意されています。なお就職については、毎年就職希望者の約7倍近くの求人があります。

仕事の現場、世界で活躍する卒業生について [p.37～38](#)

Q 奨学金のことについて教えてください。

A 日本学生支援機構の奨学金をはじめ、本学部独自の奨学金や提携教育ローンなど、様々な制度を利用することができます。

奨学金について [p.28](#)

Q 松戸歯学部付属病院を
学生は利用できますか？

A はい、できます。校友会に入会し、校友会準会員診療費助成申請書を学生課に提出すれば、支払った診療費が後日返金されますので、学生は実質無料で受診することができます。歯科関係の診療科はもちろんのこと、内科・耳鼻咽喉科などの医科の診療科もあります。

付属病院診療科について [p.8](#)

大学院／附属歯科衛生専門学校

最先端の機器が充実した環境で
追究したい専門領域を深く掘り下げる



大学院 松戸歯学研究科の概要

日本大学大学院松戸歯学研究科は昭和52年に設置されました。現在、発育発達全身疾患学系、口腔病態制御学系、組織細胞再生学系、先端材料修復学系、口腔顎顔面再建学系、病態診断検査学系の6つの学系のもとに24の専攻学科目があります。大学院には科学する能力をもった臨床医を育てることと、未来の歯科医学を担う教育・研究指導者を育てる目的があり、様々な最先端の機器が充実した研究に最適な環境で、追究したい専門領域を深く掘り下げ、さらに専門性を高めることができます。



幅広い視野を養う海外交流が活発

大学院生や教職員を対象に、国内外の著名な研究者を招いた特別講義を年に約15回開催しています。また、大学院海外派遣奨学生制度では、年に1名以上、1年間の派遣期間で、海外の大学や研究所で専門分野の研究を深めることができます。

研究活動を支えるフォロー体制

国内の他大学院や研究所にて授業科目を履修し、研究指導を受けることも可能です。これら派遣先での研究成果や教育機関での履修実績も大学院の単位として認められます。また、国内外の学会で研究発表を行う場合の奨学金給付制度など、研究活動を支える基盤があります。

＜教育研究上の目的＞

教育研究理念

自主創造の能力を養い、高い倫理観と省察力を有し、豊かな専門知識と問題解決能力に基づく研究、教育、臨床を通して、生涯に渡り人類の福祉と健康に貢献する人材を育成する。

目標

人類の福祉と健康から社会へ貢献し続けるために歯科医学の専門知識を身につけ、多様な価値、自己の立場・役割、日本の文化を理解し、高い職業倫理と世界への発信力を備えた研究・教育者、科学する力を持った臨床家を育成する。

教育方針

- ディプロマ・ポリシー
- カリキュラム・ポリシー
- アドミッション・ポリシー

*詳細はこちらをご参照ください。



入学試験情報

*詳細はこちらをご参照ください。



■ 専攻学科目一覧

発育発達全身疾患学系	小児歯科学	歯科矯正学
	障害者歯科学	歯科麻酔学
	医科病態学	
口腔病態制御学系	歯周治療学	生化学・分子生物学
	微生物学・免疫学	薬理学・歯科薬理学
	衛生学	
組織細胞再生学系	組織・発生学	生理学
	歯内療法学	
先端材料修復学系	歯科生体材料学	保存修復学
口腔顎顔面再建学系	有床義歯補綴学	歯冠架工義歯補綴学
	顎口腔機能治療学	解剖学
	顎顔面・口腔外科学	
病態診断検査学系	歯科臨床検査医学	放射線学
	口腔診断学	口腔病理学

大学院の先端設備

レーザーイオン化飛行時間型質量分析装置

AXIMA-CFRは、細胞や組織において発現しているすべてのタンパク質を、微量な検体から迅速かつ確実に網羅的に解析・同定する装置です。島津製作所の田中耕一氏が開発に成功しノーベル賞を受賞されたことで知られています。タンパク質をペプチドに消化後、レーザーをあてることでイオン化させ、検出器までに届く時間の差で複数のペプチドの質量を同時に検出し、もとのタンパク質を推定することができます。



フィールドエミッション型走査型電子顕微鏡

超高真空中に保たれたナノメートルの世界を観察できる装置です。歯のエナメル質の原子配列を観察し、原子の乱れからう蝕の原因を探り、医学への応用を図ることができます。松戸歯学部電子顕微鏡室には、ほかにも数台の最先端の電子顕微鏡が整備され、ライフサイエンスへ貢献するとともに、広く学生の実習や研究に公開されています。



GeneChip遺伝子解析装置

GeneChipは、1/2インチ平方あたり数十万種類に及ぶ遺伝子プローブをアレイ上で合成した、ほかに類を見ない高密度マイクロアレイです。ヒト、マウス、ラットを中心に多くの生物種の遺伝子配列の変異や遺伝子発現の変化を一度の実験で確認できます。



大学院生からのメッセージ

教科書や専門書・ドクターの考え方など様々な情報を批判的に吟味する力が必要と考え、大学院進学を選びました。

私は大学院で、細胞外小胞の1種であるエクソソームが歯周治療によってどう変化するかを研究しています。基礎研究は地味な印象ですが、臨床の現場で役立つ可能性を考えるととてもやりがいを感じています。松戸歯学研究科は、学会等で他大学の若手研究者と交流する機会もあり、日々刺激を受けながら研究することが可能です。また、総合大学の一部ということもあり、他学部との共同

研究も盛んで、理工学部の研究室を使用したり医学部と共同で歯周病の研究をするなど、学びの幅が広いことも特徴です。費用面においても、大学の实習の手伝いをするティーチングアシスタント制度の利用や、学会の旅費・留学費用の援助など、大学院に進学しやすく研究に集中しやすい環境が整っていることも松戸歯学研究科の魅力だと思います。



大学院松戸歯学研究科2年次
山口 亜利彩さん

〔歯周治療学専攻〕

豊富な実習で優れた歯科衛生士をめざす 本学独自の「歯科衛生士育成プログラム」



歯科衛生士とは？

歯科医師の指導のもとに、歯および口腔疾患の予防のために歯石除去や薬物塗布を行い、また、歯科診療の補助、介助をつとめます。そのほか、歯科保健指導や（口腔）衛生の啓蒙なども業務に含まれます。歯科衛生士になるには、歯科衛生士学校を卒業し、歯科衛生士試験に合格して、厚生労働大臣の免許を受けなければなりません。

歯科衛生士になるための3年間の学び

学部学生や教職員、多くの患者さんが行き交う付属病院に隣接した恵まれた環境で、充実した教育を受けられます。講義は松戸歯学部で、専門分野のエキスパートが担当し最新の知識を学ぶことができます。付属病院での臨床実習では、講義を受けた先生の治療を実際に見学することで講義と実習をうまく補完し合うことができ、歯科衛生士に必要な知識と技術を学びながら、医療従事者としての自覚と感性を磨きます。講義や実習のほか、学部学生と共に行うクラブ活動や学校行事などを通して、コミュニケーション能力を身に付けることもできます。



歯科衛生士育成プログラム

豊富な実習を通して、優れた歯科衛生士を育成するプログラムを用意しています。歯科分野の実習だけでなく、文章表現法や情報科学、手話、スポーツ健康管理学、食育、ペン習字といった選択科目もあり、コミュニケーション能力を併せもった歯科衛生士を目指します。新入生オリエンテーションでは、クラスメートとの意見交換や、特別養護老人ホームへ施設訪問し交流体験をします。また、早期臨床体験実習では、歯科衛生士の役割を学び、患者さんの気持ちを理解するための良い機会を得ることができます。

＜教育研究上の目的＞

教育理念

社会の要請に応える創造性と人間性豊かで自立する自主創造型歯科衛生士を養成しようとする精神

教育目的

口腔の健康は全身の健康を支えるという考えを基盤とした専門的知識や技術を修得し、自ら考え、自ら学び、自ら道を開拓し、社会貢献できる全人的な歯科衛生士を育成することを教育目的とする。

3つのポリシー

●ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

本校の教育方針に基づき各分野の授業科目を全て履修し、所定の単位を修得するとともに、「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけた自主創造型歯科衛生士としての能力・感性を兼ね備えた者に専門士（医療専門課程）の称号を授与する。

●カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）

教育の理念に基づいて、口腔の健康は全身の健康を支えるという考えを基盤とし、医療人となるための専門的知識・基礎的技術を修得し、社会貢献のできる豊かな感性を身につけた全人的な歯科衛生士を育成するための教育課程を編成している。また、各授業科目の学修方法、学修過程、学修成果の評価の方法、評価基準をシラバスに明示し、学生に周知する。学修成果の評価に関しては、実施する授業形態に即し、適正かつ厳格な方法で実施する。

●アドミッション・ポリシー（入学受入れ方針）

松戸歯学部附属歯科衛生専門学校の教育理念・目標に合致した人を選抜するために、基礎的学力、論理的思考力やコミュニケーション能力などに関する試験を実施し、医療人としての資質を総合的に評価する。

*詳細はこちらを
ご参照ください。



■履修概念図（領域別）

3 年 次	●総合講義・演習、研究	●歯科保健指導論	●歯科診療補助論	●歯科予防処置論
2 年 次	●臨床実習・臨床実習			
1 年 次	●基礎歯科医学	●歯科衛生士概論		
	●基礎・教養			
	●建学の精神・教育理念			



先輩からのメッセージ

付属病院が同じ敷地内にあり、たくさんの知識が得られると思い、この学校を選びました。各学年1クラスで毎日朝から夕方まで同じメンバーで授業を受けるため、クラス全体の絆も深まり、毎日楽しい学生生活を送っています。先生方も優しく、困ったときにはすぐに相談できる環境が整っています。これから2年間、病院での実習も始まりますが、しっかり学修し、患者さんに信頼される歯科衛生士になりたいと思います。

2年次
大橋 智加代 さん



大学附属の学校で臨床実習期間が長く、同じ病院で臨床実習が行えるところに惹かれ、入学しました。臨床実習では、付属病院で講義をしてくださる先生方の診療を実際に見ることができ、多くの患者さんと出会い、勉強できることは将来歯科衛生士として働く際の大きな糧となると感じています。患者さんだけでなく、歯科医師、歯科衛生士の仲間から頼られる存在の歯科衛生士を目指しています。

3年次
萬羽 彩乃 さん



附属歯科衛生専門学校 入試情報

■ 一般選抜

	【第1期】	【第2期】
募集人員	5名(女子)	若干名(女子)
出願期間	令和2年11月20日(金)～12月4日(金) 郵送・窓口 ^{*1}	令和3年2月3日(水)～2月16日(火) 郵送・窓口 ^{*1}
試験日	令和2年12月12日(土)	令和3年2月20日(土) ^{*2}
合格発表 ^{*3}	令和2年12月16日(水)	令和3年2月25日(木)
入学手続締切日	令和2年12月25日(金)	令和3年3月5日(金)
入学検定料	「入学試験要項」に記載のとおり。	
推薦基準・出願資格	●高等学校または中等教育学校を卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者。 ●通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年3月修了見込みの者。 ●高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和3年3月31日までにこれに該当する見込みの者。	
出願書類	①入学志願票(本校指定様式) ②出身学校の調査書	
選考方法	①書類審査 ②学力検査 ③小論文 ④面接 左記の結果を基に、総合的に選考する。	

^{*1} 1. 休日は郵送のみ。^{*2} 2. 令和2年12月25日(金)までに総募集人員(40名)を満たしている場合は、第2期試験は実施しない。^{*3} 3. 本人へ通知。

■ 総合型選抜

	【第1期】	【第2期】
募集人員	25名(女子)	若干名(女子)
エントリー期間	令和2年6月8日(月)～7月10日(金) 郵送・窓口	—
エントリー審査	令和2年7月18日(土)	—
エントリー結果通知 ^{*1}	令和2年7月21日(火)	—
出願期間	令和2年7月22日(水)～7月30日(木)	令和2年10月19日(月)～11月6日(金) 郵送・窓口
試験日	—	令和2年11月14日(土)
合格発表 ^{*1}	令和2年8月6日(木)	令和2年11月18日(水)
入学手続締切日	令和2年8月25日(火)	令和2年12月2日(水)
入学検定料	「入学試験要項」に記載のとおり。	
エントリー出願資格	①本校のアドミッション・ポリシーを理解し共感できる者。②本校が実施する体験入学に参加した者。③下記の④～⑨の一つに該当し、かつ本校を第一志望とし、合格後は入学を確約できる者。④高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者。⑤通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年3月修了見込みの者。⑥高等専門学校の3年次を修了した者及び令和3年3月修了見込みの者。⑦高等学校卒業程度認定試験(旧大検)に合格した者。⑧社会人経験のある者(パート、アルバイト経験を含む)。ただし、高等学校又は中等教育学校を卒業した者。⑨その他、本校が特にエントリー・出願前にご相談願います。	
エントリー出願書類	①エントリーシート(体験入学時に配布) ②高等学校等調査書 - 在学中で調査書が提出できない場合は、2学年までの成績証明書を提出してください。その際、備考欄に2学年までの出欠状況を記入してください。 - 卒業後5年以上を経過し発行できない場合は、その旨を記した「証明書」を提出してください。 - 高等学校卒業程度認定試験(旧大検)に合格した者は、高等学校等の調査書・卒業証明書に代えて、「合格成績証明書」を提出してください。 ③最終学歴の卒業証明書及び成績証明書 - 新卒者は卒業後に提出。 - その他本校が特に指定する場合があります。 ④エントリー審査料(郵便為替) ⑤その他入試要項に従う。	①自己推薦書(体験入学時に配布) ②入学志願票 ③高等学校等調査書 - 在学中で調査書が提出できない場合は、2学年までの成績証明書を提出してください。その際、備考欄に2学年までの出欠状況を記入してください。 - 卒業後5年以上を経過し発行できない場合は、その旨を記した「証明書」を提出してください。 - 高等学校卒業程度認定試験(旧大検)に合格した者は、高等学校等の調査書・卒業証明書に代えて、「合格成績証明書」を提出してください。 ④最終学歴の卒業証明書及び成績証明書 - 新卒者は卒業後に提出。 - その他本校が特に指定する場合があります。 ⑤入学検定料(郵便為替) ⑥その他入試要項に従う。
選考方法	エントリー審査：①小論文 ②面接	エントリー審査はありません。試験日に①小論文 ②面接を実施。

^{*1} 1. 本人へ通知(郵送)。

■ 学校推薦型選抜

	指定校制	付属高等学校等	公募制【第1期】	公募制【第2期】
募集人員	5名(女子)	若干名(女子)	5名(女子)	若干名(女子)
出願期間	令和2年9月7日(月)～9月25日(金) 郵送・窓口 ^{*1}			令和2年11月20日(金)～12月4日(金) 郵送・窓口 ^{*1}
試験日	令和2年10月3日(土)			令和2年12月12日(土)
合格発表 ^{*2}	令和2年10月7日(水)			令和2年12月16日(水)
入学手続締切日	令和2年10月21日(水)			令和2年12月25日(金)
入学検定料	「入学試験要項」に記載のとおり。			
推薦基準・出願資格	●高等学校または中等教育学校を令和3年3月卒業見込みの者(日本大学付属高等学校等を除く)。 ●本校への入学を強く希望し、合格した場合、本校に入学することを確約できる者。 ●調査書の学習成績の状況が指定校別に定めた値以上の者。 ●上記の基準を満たす者で、学校長が責任をもって推薦する者。	●日本大学付属高等学校等を令和3年3月卒業見込みの者。 ●本校への入学を強く希望し、合格した場合、本校に入学することを確約できる者。 ●上記の基準を満たす者で、学校長が責任をもって推薦する者。	●高等学校または中等教育学校を令和2年3月に卒業した者又は令和3年3月卒業見込みの者(日本大学付属高等学校等は令和2年3月卒業者のみ可)。 ●本校への入学を強く希望し、合格した場合、本校に入学することを確約できる者。 ●上記の基準を満たす者で、学校長が責任をもって推薦する者。	
出願書類	①入学志願票(本校指定様式) ②出身学校の調査書 ③出身学校長の推薦書(本校指定様式)			
選考方法	①書類審査 ②面接 左記の結果を基に、総合的に選考する。		①書類審査 ②小論文 ③面接 左記の結果を基に、総合的に選考する。	

^{*1} 1. 休日は郵送のみ。^{*2} 2. 学校長と本人へ通知。付属高等学校等の場合は学校長へ通知。

■ 社会人選抜

	【第1期】	【第2期】
募集人員	若干名(女子)	
出願期間	令和2年11月20日(金)～12月4日(金) 郵送・窓口 ^{*1}	令和3年2月3日(水)～2月16日(火) 郵送・窓口 ^{*1}
試験日	令和2年12月12日(土)	令和3年2月20日(土) ^{*2}
合格発表 ^{*3}	令和2年12月16日(水)	令和3年2月25日(木)
入学手続締切日	令和2年12月25日(金)	令和3年3月5日(金)
出願書類	①入学志願票(本校指定様式) ②出身学校の調査書 ③自己推薦書(本校指定様式)	
入学検定料	「入学試験要項」に記載のとおり。	
推薦基準・出願資格	●高等学校または中等教育学校を卒業した者。 ●通常の課程による12年の学校教育を修了した者。 ●高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。 上記いずれかに該当し、社会人経験があり、本校への入学を強く希望し、合格した場合、本校に入学することを確約できる者。 ※本校で社会人とは、「上記いずれかの学校教育を修了し、社会で活動、生活している人」と定義し、必ずしも職業従事の有無は問いません。	
選考方法	①学力検査 ②面接 左記の結果を基に、総合的に選考する。	

^{*1} 1. 休日は郵送のみ。^{*2} 2. 令和2年12月25日(金)までに総募集人員(40名)を満たしている場合は、第2期試験は実施しない。^{*3} 3. 本人へ通知。

学費

■ 学費(令和2年度参考)

	【1 学年】		【2 学年】		【3 学年】	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
入学金	250,000 円	—	—	—	—	—
授業料	350,000 円	350,000 円	350,000 円	350,000 円	350,000 円	350,000 円
施設設備資金	50,000 円	50,000 円	50,000 円	50,000 円	50,000 円	50,000 円
小計	650,000 円	400,000 円	400,000 円	400,000 円	400,000 円	400,000 円
学年合計	1,050,000 円		800,000 円		800,000 円	
3 年間合計	2,650,000 円					

^{*} 前学期(4～9月)・後学期(10～3月)・入学金(入学時のみ)・授業料(毎年)・施設設備資金(3年間)

■ その他卒業時までの諸経費(令和2年度参考)

	【1学年】	【2学年】	【3学年】
教科書	76,118円	49,895円	15,804円
実習器材	171,404円	—	—
体育着	18,950円	—	—
学年合計	266,472円	49,895円	15,804円
3年間合計	332,171円		

各種奨学金制度の紹介

■ 学内の奨学金制度

奨学金名	対象	目的	金額	募集時期	種別
松戸歯学部鈴木奨学金	2・3学年	故鈴木勝博士が寄付した基金を運用して、学業成績・人物が優秀な者に対して給付する。	年額10万円	4月～5月	給付
松戸歯学部大竹奨学金	全学年	大竹繁雄博士が寄付した基金を主に運用して、学業成績・人物が優秀な者、または課外活動において顕著な成果を収め、学部等の発展に貢献したと認められる者、または奨学生選考委員会が適当と認める事情がある者に対して給付する。			

■ 学外の奨学金制度

奨学金名	対象	条件	金額	貸与期間	募集時期	種別
第一種奨学金[無利子]	全学年	経済的理由により修学に困難がある優れた学生等。	●自宅通学者：5万3千円。 ●自宅外通学者：5万円もしくは6万円。 ●自宅・自宅外共通：2・3・4万円の中から選択。	卒業までの最短修業年限。	4月初旬 ^{*1}	貸与
第二種奨学金[有利子]			●自宅・自宅外共通：2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12万円の中から選択。			
日本学生支援機構奨学金(給付型) ^{*2}		収入が一定額以下であること(学業成績・学修意欲等に関する要件も満たす必要がある)。 ※給付型奨学金の対象となれば授業料・入学金も免除又は減額。	世帯収入に応じた3段階の基準で支援額が決定。	—	4月	給付
国の教育ローン		学費の支弁が困難な者。 ^{*3}	350万円以内	—	随時	貸与

^{*1} 1. 学生課掲示板でお知らせします。^{*2} 2. 独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)のホームページを御参照ください。 <http://www.jasso.go.jp>

^{*3} 3. 詳細は「国の教育ローン」でWeb検索してください。学生課にリーフレットを用意しています。

仕事の現場

小倉 千春

27期生

ひまわりデンタルクリニック 院長
日本大学松戸歯学部同窓会学術委員

農学から一転、歯学の道へ。

農学部で動物生産学を専修していましたが、バブルが弾けて就職氷河期全盛期。希望の生理工学系の就職求人は大卒女子学生には皆無。「手に職を」と再度浪人に挑戦し、結果、ご縁をいただいたのが松戸歯学部でした。大動物獣医として働く夢を捨てきれず揺れて悩んでいた時に「あなたは人と話す仕事に向いているし、細かい作業も好きだから歯学部へ行ってごらんさい」と尊敬する祖母に勧められ松戸歯学部への進学を決めました。松戸歯学部には同じ中学高校出身の先生も多く、学生時代から今でも可愛がっていただいています。ある時その恩師の先生方に自分の歯を治療していただくことになり「歯科は治療する人によってこんなにクオリティが違うのか。私も先生方のような歯科医師になりたい!」と実感し、そこから歯科の面白さに夢中になりました。

つながりが強く、縁が広がる大学。

松戸歯学部は全国の歯科大学の中でも同窓会活動が活発で、卒業生同士の絆が強いことでも有名です。私自身は卒業後に学術委員会にお誘いいただき、セミナーや講演会を企画して同窓生に学ぶ機会を提供をしたり、全国歯科大学が学術活動を通して連携を深めるお手伝いをしています。自分が子育てで勉強会に思うように行けなかった時期も、委員会活動に参加することで歯科の学びや同窓との繋がりを途切れさせずに過ごすことができました。今ではそこから素敵なご縁が広がり、学びや活動の場が年々豊かになっていることに感謝しています。卒業後も縁が広がり深まる温かさが松戸歯学部の大きな魅力です。

開業に至ったのは、先生方の応援あってこそ。

大学で勤務していた頃、子供が熱を出すたびに保育園からお迎え要請の電話がきて、すぐに飛んで行かねばならない時が何度も何度もありました。母親になって思うように働くことのできないもどかしさに悩む私に「子育てを中心に働ける環境を作りなさい」と背中を押して下さったのも恩師の先生方です。生まれ育った浅草猿若町で開業を決め土地建物を購入。そこからは大学に勤務しつつ、第二子妊娠と並行して開業の準備を整え、長女が1歳、次女が生後4ヶ月の時にこのクリニックを始めました。2階が自宅なのでチョコチョコ子どもの様子を見守りながら、開業から11年間は子育てを主軸に、院長一人だけの歯科医院としてコンパクトに働いてきました。開業から6年目には診療をほぼ休むことなく第三子である息子も誕生しました。

女性がいろんな形で働ける仕事だと体現したい。

歯科医師としてフルタイムで院長をしながら母親として子育ても目一杯楽しむ。長女が3歳の時から母娘で空手を始め、浅草ならではの三社祭などの地域行事に参加し、ボランティアなど多くのコミュニティと触れ合って子育てをしてきました。歯科医師は意外とライフステージに合わせた働き方もやすく、女性にも向いている職業のように思います。現在は保育園待機児童を抱えたママ歯科衛生士の「赤ちゃん同伴出勤」や、PTAの仕事が多くお迎えの早い幼稚園ママ歯科衛生士の「超短時間出勤」など勤務時間や休みを一人ひとりの状況を考慮し、女性のライフステージにそった育児も仕事も無理せず続けられる職場作りにも挑戦しています。

今日の学びが患者さんの明日の幸せにつながる喜び。

歯科医師は、自分の人生を自分の心と技術で切り拓いて行けるステキな職業だと思っています。自分の学びや気遣いが患者さんの喜びや幸せにつながりますし、技術を磨き患者さんに真摯に向き合えば男性Dr.女性Dr.関係なく信頼を得られるところも良いところです。生涯学習を伴う技術職でもあり、経営者としての側面も持ち、何より倫理観を持った医療人として自分を磨き続けて行かなければならないという多面性も楽しく、生涯飽きずに夢中になれるやりがいのある仕事だと、歯科医師を目指している受験生や学生さんに声を大にしてお伝えしたいです。

勤務スケジュール

診療準備・
保育園送り

8:45

診 療

17:45 保育園へ
18:00 お迎え

21:30

診察室片付け・
事務仕事

～ ひまわりデンタルクリニックの皆さん ～



子育て期の経験を活かしながら、スタッフさんの赤ちゃん同伴出勤や、超短時間出勤などフレキシブルな勤務体制を取り入れていることも、ひまわりデンタルクリニックの特徴。

世界で活躍する卒業生



藤橋 浩太郎

10期生

東京大学医科学研究所
国際粘膜ワクチン開発研究センター
臨床ワクチン学分野 特任教授

無限の可能性を探せ!

私は卒業後、開業医を目指し小児歯科学教室に研究生として在籍しました。しかし、その年の秋にアラバマ大学バーミングハム校(UAB)に留学し、粘膜免疫を学ぶ機会をいただいたことで研究への興味を持ち、UABの歯学部小児歯科学教室の教授として現在は東京大学医科学研究所で歯科基礎や高齢者のための粘膜ワクチン開発に向けた研究を続けています。皆さんは受験の難関を通り抜け、必要な知識と技術を取得し歯科医師を目指します。卒業後は開業医として地域医療に貢献し、健康な社会の発展に携わる重要な役割です。また、教育者・研究者として大学や研究機関で働くことも、公務員として国の歯科医療の構築や発展を目指すことも、私のように他の医療分野の研究に携わることもできます。皆さんは限らない可能性を秘めています。歯科医師になった後どの道を進むべきか模索し、6年間有意義に過ごしてください。



宮本 貴成

23期生

アメリカクレイトン大学 歯周病科
教授

世界で通用する歯科医師へ

私は1994年に日本大学櫻丘高校を卒業し、同年、日本大学松戸歯学部に入學しました。その後ボストン大学大学院に進学し、現在はアメリカネブラスカ州のクレイトン大学で主任教授として学生教育や研究に携わっています。日本で歯科医師といえば「歯科医師過剰問題」など様々な問題がとり挙げられているようです。しかし世界に目を向けると、歯科医師という仕事は健康を追求し、多くの方々の生活のクオリティを向上することができる、魅力的で社会から尊敬されている重要な職業のひとつと位置づけられています。在学中から感じていたのですが、松戸歯学部はグローバルな視点から非常にユニークな歯科医学教育を行っています。卒業後海外で活躍している卒業生も数多くいます。受験生の皆さんには歯科医師という職業をグローバルな視点から考えていただけたらと思います。



横尾 聡

11期生

群馬大学大学院医学系研究科
口腔顎顔面外科学講座・
形成外科学講座 教授

医学の一分野としての 歯科医学を追求して

歯科学は歯や歯茎だけではなく、口・顎・顔面・その隣接組織に現れる病気を学ぶ学問です。この領域の異常は、食事や会話が上手にできなくなるなどの機能障害や美容的な障害、すなわち人間として重要な「社会性」の喪失を来してしまいます。自然科学の急速な発展で変化した社会生活、思考、疾病構造などに調和したこれからの歯科医学は、歯学ではなく「医学の一分野としての歯科」という医療体系へ変化すべきと考えています。この考え方は、在学中に「口腔科学」を根底に置いた講義を受ける中で自然に培われました。私の専門は口腔外科学ですが、歯学の中の口腔外科という狭い捉え方ではなく、松戸歯学部で学ぶ皆さんには医学の中の歯科医学・口腔科学を根底に置き、広い視野で患者を診る事のできる歯科医師、口腔科医師になって欲しいと思います。



古賀 陽子(旧姓 河瀬)

23期生

東京女子医科大学
歯科口腔外科学講座
口腔顎顔面外科学分野教授

自分流の道を切り拓ける 人生観を培う

「自立できる自分でありたい!」と希望に満ちて1993年の春に入學。教養から臨床まで一連の流れで学び、最新トピックスを盛り込んだ生きた講義は進路決定にも大いに役立ちました。私は口腔外科に興味を持ち、卒業後は東京大学医学部口腔外科で2年間研修。そして東京大学大学院に進学し、医学博士を取得後、米国コーネル大学医学部で研究員として3年半過ごし、帰国後は口腔外科医として手術と実験に明け暮れる充実した日々を過ごしています。常に前を向き何事も諦めずに取り組む姿勢は大学生生活で培いました。グローバル社会に向けて学生主導型の教育を行う松戸歯学部は、世界に通用する学部だと確信しています。かけがえのない友人を持てたことや、縦の繋がりが強いことも松戸歯学部だからこそ。受験生には夢に向かって大きな一歩を踏み出し、自分流の道を切り拓いて欲しいです。